



# かながわスマートエネルギー構想の推進 ～「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」の取組～

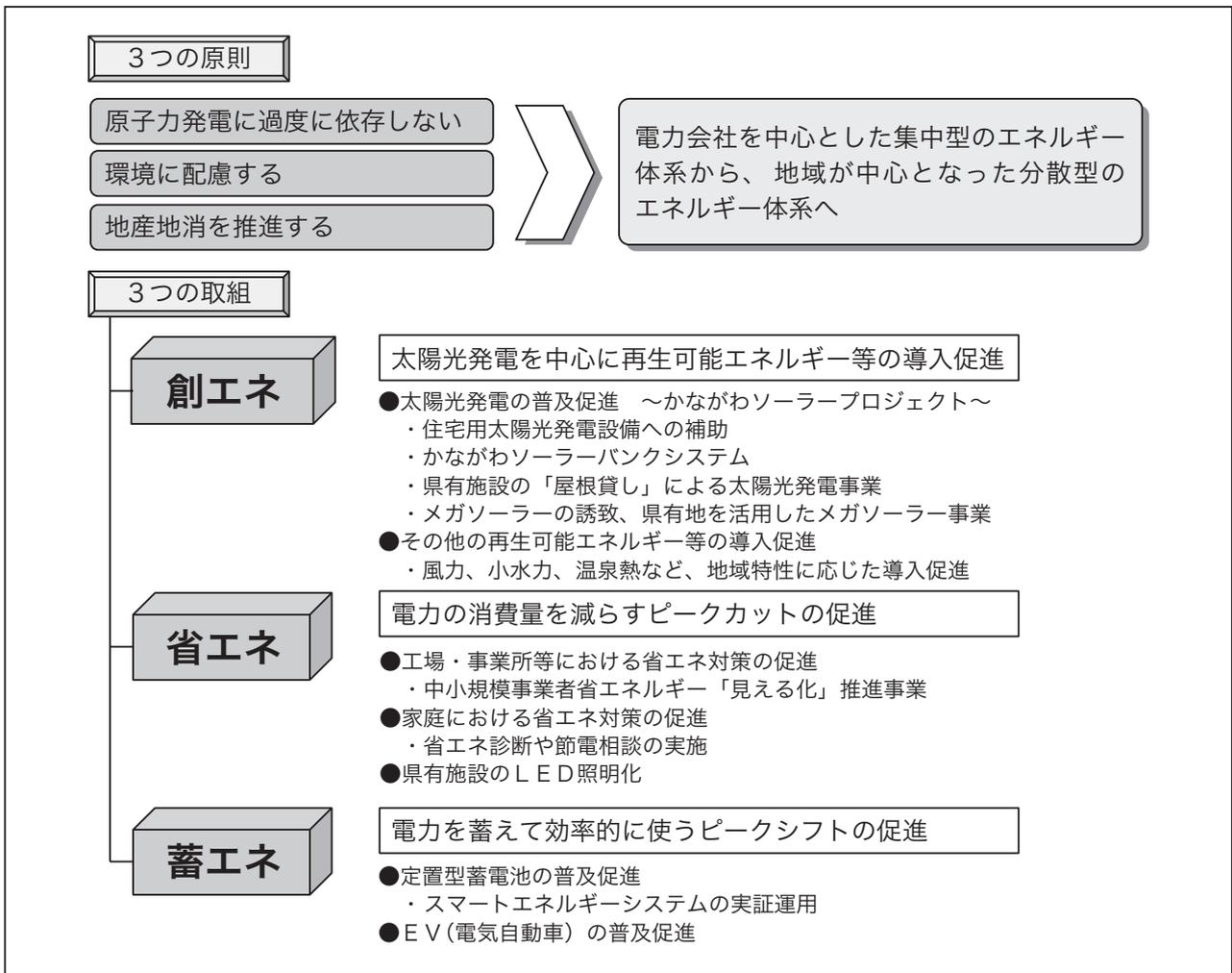
県では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う電力供給の逼迫を受け、将来にわたり安全・安心なエネルギーを安定的に確保していくため、中長期の新たなエネルギー政策として「かながわスマートエネルギー構想」を掲げ、「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」の取組を総合的に推進しています。

## 1 かながわスマートエネルギー構想について

### 1 3つの原則と3つの取組

「かながわスマートエネルギー構想」では、「原子力発電に過度に依存しない」「環境に配慮する」「地産地消を推進する」という3つの原則のもと、再生可能エネルギー等の導入を図る「創エネ」、エネルギー消費を抑える「省エネ」、エネルギーを蓄えて効率的に使う「蓄エネ」の3つの取組を総合的に進め、効率的なエネルギー需給を地域において実現することを目指しています。

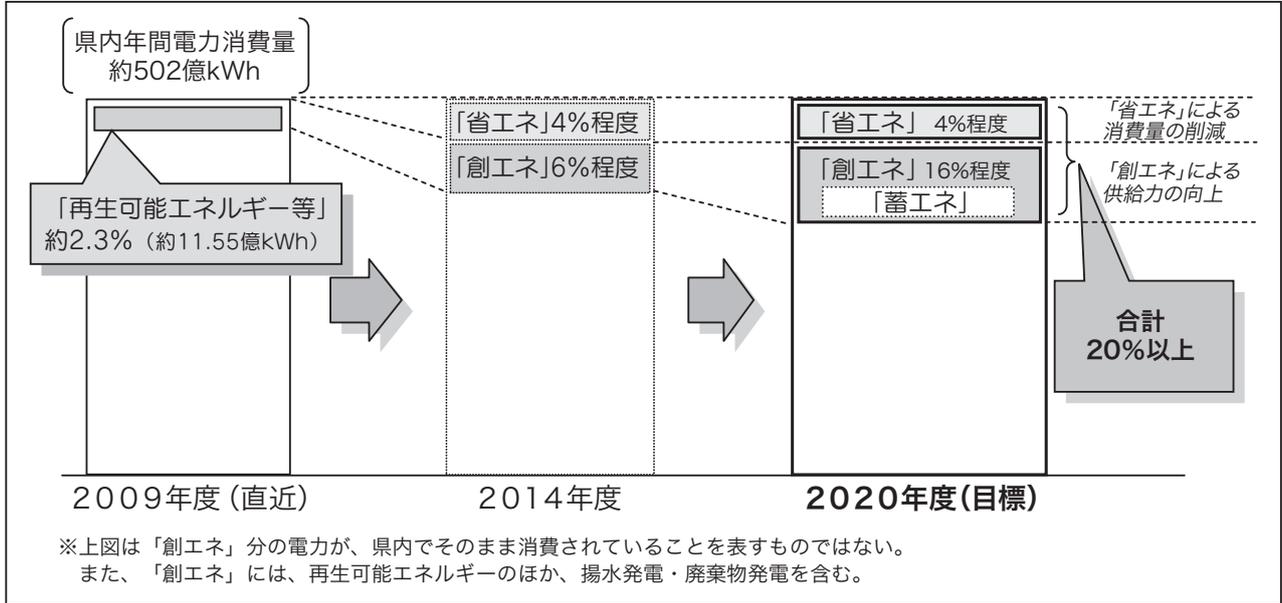
#### 【かながわスマートエネルギー構想】



2 目標

「かながわスマートエネルギー構想」では、2020年度に県内の消費電力量に対する「創エネ」と「省エネ」の割合を、「省エネ」と組み合わせることにより20%以上の水準まで高めることを目標としています。

【取組目標】



2 「創エネ」の取組（主な取組の紹介）

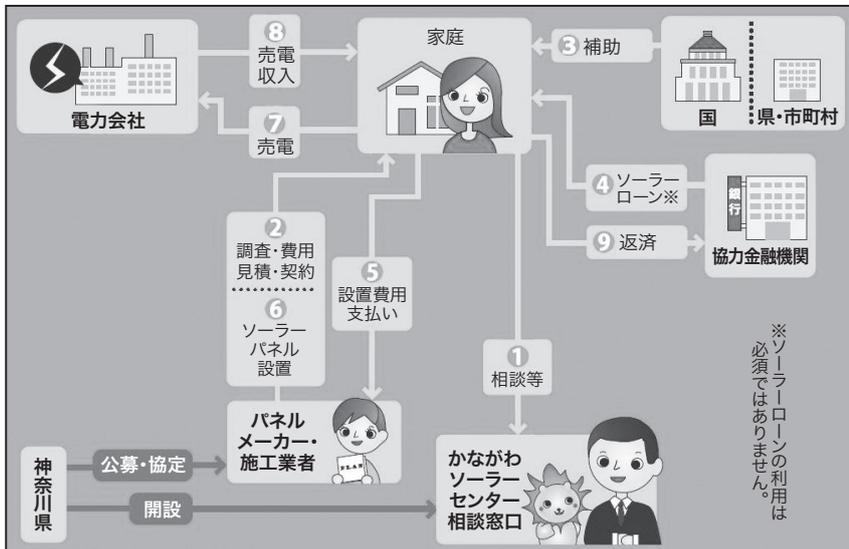
1 かながわソーラーバンクシステム

平成23年12月から、県と参加事業者が協力し、太陽光発電設備を県民の皆様にリーズナブルな価格で安心して設置していただく「かながわソーラーバンクシステム」に取り組んでいます。

県が開設した「かながわソーラーセンター」において、県が設置価格、数量・地域、販売・施工体制、アフターサービス等を評価して選考した、戸建住宅・共同住宅・産業用の設置プランを紹介しています。

平成24年8月から紹介している住宅用の設置プランは、陸屋根タイプを除き、発電した電気の買取期間（10年間）内で、売電収入と電気料金の節約により設置費用の回収が可能と見込まれるプランとなっています。

【かながわソーラーバンクの概要】



ご相談、見積もり申し込み等は「かながわソーラーセンター」へ

**0120-402-442**  
☎045-232-4024  
(携帯・自動車電話・PHPなどは、こちら)

【受付日時】月～土曜9時～17時  
(祝・休日を除く)

▶インターネットが使える場合  
 ホームページへアクセス

▶インターネットが使えない場合  
 電話 面談 (予約制)  
 上記に電話してください。

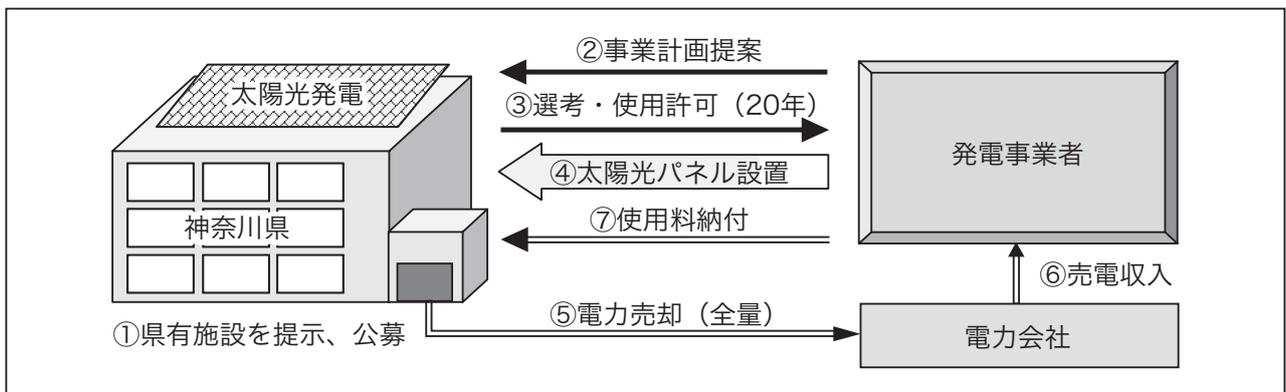
## 2 県有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業

平成24年7月からスタートした固定価格買取制度を積極的に活用し、「新たなビジネスモデル」を神奈川県から発信するため、全国に先駆けて県有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業に取り組んでいます。

平成24年6月には、全国の自治体で初めて、県有施設（20施設、25棟）についての公募を開始し、7月に4事業者を発電事業者として決定しました。また、10月には「第2弾」として、対象施設を県立学校（20校、29棟）に絞るとともに、提案項目に「県立学校の教育環境に資する提案」を加えた公募を実施し、12月に4事業者を発電事業者として決定しました。

この「屋根貸し」による太陽光発電事業は、本県の取組後、全国に広がっており、平成24年12月現在で、約20の自治体で取り組まれています。

### 【県有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業の概要】



## 3 「省エネ」の取組（主な取組の紹介）

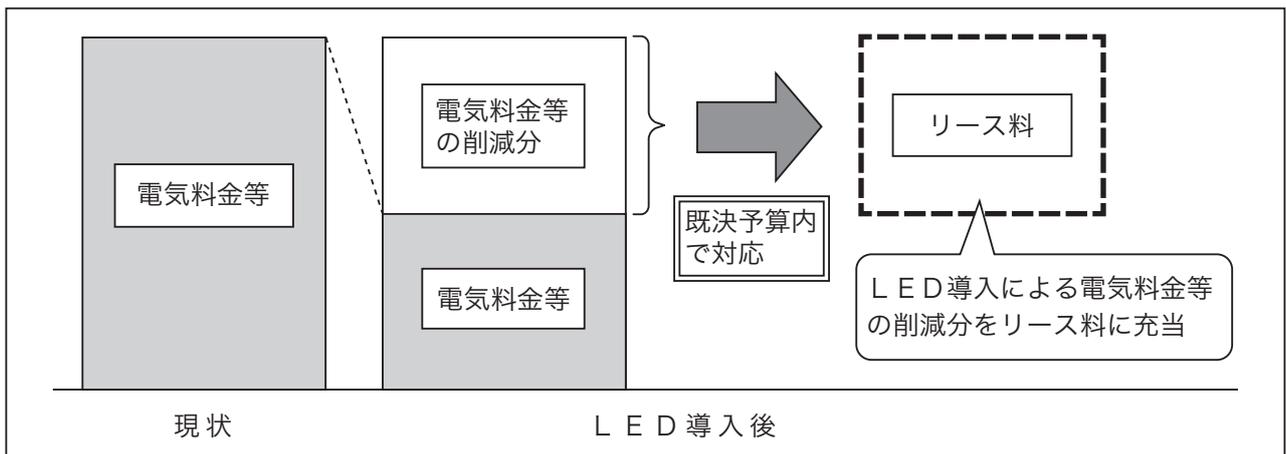
### 1 県有施設のLED照明化

LED照明の導入は、省エネ対策の中でも大きなエネルギー削減効果が得られることから、県では、これまで、県有施設において積極的に導入してきました。

平成23年度には、本庁庁舎、県立図書館等26施設に約12,000灯を導入しました。

平成24年度では、警察本部庁舎にリース方式により約6,700灯を導入しました。さらに、リース経費を電気料金等の削減額で賄うことにより、既決予算の範囲内でLED照明を導入できる施設を選定し、170施設約7万灯を導入しました。

### 【リース経費を電気料金等の削減額で賄うことにより導入する仕組み】



## 4 「蓄エネ」の取組（主な取組の紹介）

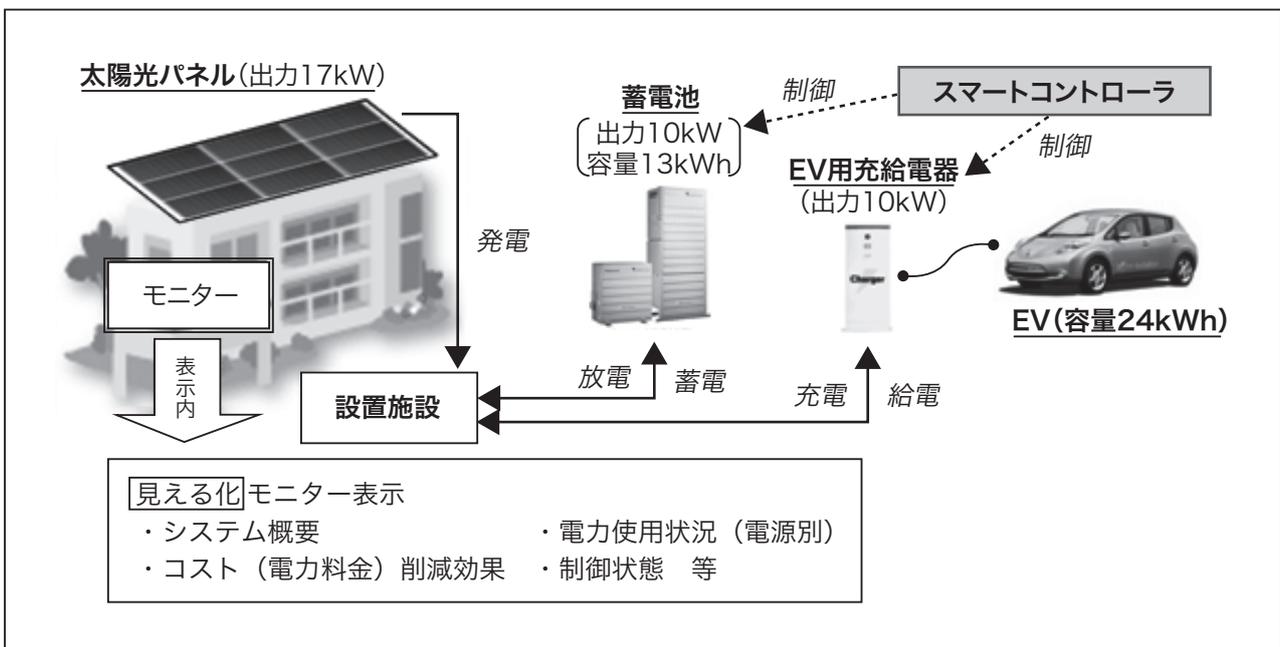
### 1 スマートエネルギーシステムの実証運用

平成24年8月から、産業技術センターの管理・情報棟において、太陽光発電設備や蓄電池を組み合わせ、エネルギーの需給管理を行う「スマートエネルギーシステム」の実証運用を行っています。

このシステムでは、太陽光発電により電力の使用をカットし、併せて、使用最大電力が抑制目標値に達しそうになるとスマートコントローラにより自動的に蓄電池に蓄えた電気を放電するとともに、蓄電池からの放電出力が足りないか、蓄電池の残量がなくなると、EV用充電器によりEVに蓄えた電気を放電することにより、系統（商用）電力の使用がカットされます。

このシステムの導入により、昨年度の使用最大電力の15%カットを目指して実証を行っています。

#### 【スマートエネルギーシステムの概要】



かながわスマートエネルギー構想 ホームページ  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f300183/>

かながわスマートエネルギー構想

検索

### 東日本大震災関連情報

この度の東日本大震災により発生した福島第一原子力発電所の事故に伴う放射線情報につきましては、県のホームページにて情報提供を行っております。（大気、水道水、食品等の放射線情報及び相談窓口など）



「東日本大震災関連情報」  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f100573/>